

麻しん・風しんの定期接種について

今年度、4月に沖縄県内で約70名以上、北部管内では14名が麻しん(はしか)の感染症が発生し、本校でも児童の予防接種歴などを確認し予防接種の呼びかけなどを行ってきました。

今回は、風しんによる感染症で沖縄県内でも10月に入り風しんの患者が4名確認されました。4名の患者のうち3名は、県内での感染が推定されています。

風しんは、感染しても症状が分かりづらいことから、県内には潜在的な感染者が存在する可能性があります。再度、MR7クチンの予防接種歴を母子手帳等で確認してください。

- 風しんに感染しないためには、予防接種が重要です。風しんの定期予防接種対象
第1期:1歳になってから2歳になるまで。
第2期:小学校に入学する前の1年間の方は、早めに予防接種(MR7クチン)を受けましょう。
- 30代から50代の男性は、風しんの免疫が不十分な世代と言われています。この世代の方は、抗体検査や予防接種について積極的にご検討ください。
- 風しん患者の感染経路は飛沫感染及び接触感染です。常日頃から、手洗いや咳エチケットなどの感染防止対策を実施して下さい。
- 発熱や発疹等の症状から風しんが疑われる場合、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。また受診の際は、マスクを着用し、公共交通機関等の利用を避けてください。

全国の風しん患者数は、1103名の患者が報告されています。
主な地域は、東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県・愛知県です。



予防接種を受ける時は、かかりつけの病院に確認しましょう。

.....

** スクールカウンセラー来校日 **

月	月日(曜日)・時間
10月	10月29日(月) 9:30~
11月	11月20日(火) 9:30~

スクールカウンセラー: 重島泰代さん

相談希望の方は、担任または保健室までご連絡ください。(Tel:56-2407 養護教諭 玉城)

カウンセリングというと「問題を抱えている人が相談する」という考えがあるかもしれませんが、気軽な気持ちで子育ての事や家庭での様子など日頃ちょっとした気になることを相談してみることで、違った視点や第三者からのアドバイスがよいヒントになることがあるかもしれませんよ。

ゆっくり・じっくり考え、一緒に子どもと向き合っていきましょう。子どもの事で気になることがあればいつでも学校へご連絡ください。

風しん

病原体 風しんウイルス

症状 発熱と同時に、赤く細かいポツポツが全身に出ます。熱は3日ほどで下がりますが、赤いポツポツが消えるまでには、さらに数日間かかることがあります。

似たようなポツポツが出る病気がほかにもあるので、病院で検査してもらう必要があります。

登校について

赤いポツポツがきれいに無くなるまでは、出席停止になります。

